

会 議 録

1 会議名

令和7年度 第3回上越市白山会館運営委員会

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 令和7年度事業の報告について（公開）
- (2) 令和8年度事業（案）について（公開）

3 開催日時

令和8年2月24日（火） 午前10時00分から11時15分

4 開催場所

白山会館 多目的集会室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委 員：寺田委員長、嶋田副委員長、尾崎委員、松岡委員、佐藤委員、小山田委員、宮下委員、江村委員、山岸委員、飯塚委員、浦澤委員、西山委員
- ・事務局：社会教育課 福山課長、北澤係長、三田主任、石川社会教育指導員、野崎社会教育指導員、学校教育課 磯貝指導主事

8 発言の内容（要旨）

（1）開 会

（2）委員長あいさつ

委員の皆様には各種研修会等積極的にご参加、またご協力いただき感謝申し上げます。今年度もたくさんの皆様から白山会館においていただき、学びを深めていただいた。昨年度は外壁工事、今年度の6月には空調機入替修繕により一層快適な空間で学んでいただけたのではないかと思います。

部落差別として、結婚差別、就職差別、後を絶たないインターネット上での差別情報拡散、さらにはインターネットでの情報により寝た子が起こされる環境になってきており、同和教育や市民啓発がますます重要になってきていると捉えられる。また、人権・同和問題に関する市民意識調査では調査対象者の約7割は人権問題への関心があること、また被差別部落についても約7割の人は知っているとのこと。その中で、約2割の人は同和問題に関心があるとのこと、人権問題については関心のある人は多いが、同和問題についてはあまり関心がないように見えてしまう。さらに、人権問題に関する講話会や研修会への参加についても約7割の人は行ったことがない、関心がないという。また、講話会や研修会で登録を呼び掛けている本人通知制度についても約6割が知らないと回答がある。この結果について、同和教育、市民啓発を目的としている白山会館事業は一層重要になってきていると思う。

（3）議 事

① 令和7年度事業の報告について

— 資料に基づき事務局説明 —

（寺田委員長）

小中学生学習会の中学生の3人は中学3年生と伺っているが、学習会の感想等は聞いているか。

（事務局）

最近の感想は聞いていないが、夏までの様子について、講師先生からは中学

3年生は受験も控えているため、皆さん集中して取り組んでいると伺っている。

(嶋田副委員長)

「人権を考える講話会」では、参加者の全てではないと思うが、中にはPTA関係者、行政関係者や教職員が含まれていると思う。先ほど寺田委員長から人権・同和問題に関する市民意識調査の話にもあったが、市民啓発があまりされていないのではないかと正直思っている。「人権を考える講話会」では、せつかく約500人が参加しているので、本人通知制度等の周知をしていただきたい。以前、他の研修会で人権・同和対策室が本人通知制度の案内をしていたと思うが、いろいろと工夫して周知することが今後の課題であるのでお願いしたい。

(事務局)

本人通知制度の登録については現在も呼びかけをしており、今後も引き続き講話会や研修会で呼び掛けていく。

(寺田委員長)

「人権を考える講話会」は小学校区で行っているが、近年、小学校の統廃合が進んでいる。小さい校区であれば参加の呼びかけに対し、地域住民も参加しようと思うが、校区が広くなると当事者意識も薄らぎ、会場も遠くなるため、なかなか参加しづらくなると思われる。小学校の統廃合に伴い、周知方法について今後検討していただきたい。

(事務局)

講話会は3年間で市内全小学校区を1巡する計画で開催しており、令和8年度は7巡目の3年目となる。今後、8巡目の1年目となる令和9年度からは、小学校の統廃合に伴う周知方法について検討していかなければと思っている。

(山岸委員)

資料の「人権を考える講話会」について、「学校、PTA・町内関係者、地域青少年育成会議等、地域の組織の協力を得て開催」とある。学校によって違いは出てくると思うが、参加者の人数について、教職員以外の参加はどのような傾向にあるのか。

(事務局)

学校によって差はあるが、地域住民の参加者数について増加傾向にあるかという難しい部分がある。ただ、小学校からの働きかけにより、地域住民の参加者の確保はしてもらっており、参加者全員が教職員ということはない。必ずPTAの方が入って実施しており、今後もそのように働きかけていくが、小学校の統廃合が進んでおり、厳しい状況ではある。

「人権を考える講話会」の参加者の感想の中では、教職員から「凄く良かったのでもっと地域の人に聞いてほしい」という回答がある。そういった意識を持っている教職員もいるため、学校教育課と連携しながら、周知方法について検討していきたい。

(江村委員)

「人権を考える講話」に参加したことがあり、その時は回覧板で地域住民へ周知していた。講話会の最中、忙しい保護者が途中で帰っており、勿体ないと思った。学校も開催について工夫していると思うが、途中で帰る人もいることを実感した。校長先生と教頭先生が中心となり、地域住民に発信していると思うが、学校以外で実施していることはあるか。

(事務局)

講話会の実施について、今までは学校が主であったが、現在は「その他講話会（講師派遣事業）」の一環として、会場を公民館に広げて実施しており、少しずつ広がっている状況である。また、周知方法については町内回覧の利用を検討している。

(寺田委員長)

教職員等現地学習会の講師としての立場から感想をいただきたい。

(浦澤委員)

毎年毎年、積み重ねていくことで、少しでも子供たちに広がっていくのではないかと感じている。私たちも精一杯取り組んでいかなければいけないと思っており、今後とも頑張っていきたい。

(西山委員)

参加者の感想で、教職員の中には、自分の学校でも同和教育の授業をやりたいという方も多く、私も講話をした甲斐があると感じている。

② 令和8年度事業（案）について

— 資料に基づき事務局説明 —

(寺田委員長)

令和8年度の地域交流事業は、6月14日（日）と12月13日（日）を予定しているので、委員の皆さんも今から予定して、ぜひご参加いただきたい。

(松岡委員)

来年度の同和教育研修会は、11月20日（金）の午後に予定している。ぜひ委員の皆さんにご参加いただきたい。

(飯塚委員)

白山会館と直接結びつかないが、寺田委員長から話のあった人権・同和問題に関する市民意識調査がとても興味深かった。年齢別に結果が出るのか、また、市のホームページで掲載されるのか。

(事務局)

年齢別の回答であり、市のホームページでも掲載される。市民啓発の取組にあたり、人権・同和問題に関する市民意識調査の結果について、人権・同和対策室より話を聞くことも今後検討させていただく。

(4) その他

- ・ 3月、4月に所属の組織で異動等があれば事務局に推薦書の提出をしていただきたい。

(5) 閉 会

9 問合せ先

上越市教育委員会社会教育課社会教育係

TEL : 025-545-9245 (内線 2740)

E-mail : shakai@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。